

進捗状況をお伝えします

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校 開校準備委員会設置検討会通信

Vol.3
令和6年7月



↑ 沼影新設校舎のイメージ図（校庭側）



↑ 沼影新設校舎のイメージ図（屋上テラス）

← 沼影新設校舎のイメージ図（西側エントランス）

1 開校準備委員会設置検討会通信とは

教育委員会では、令和6年10月をめどに「武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会」（以下、「準備委員会」と呼ぶ。）を設置し、通学区域や、校名・校章、教育課程、学校行事のあり方、制服や通学かばんをはじめとする学校生活用品のあり方など、本義務教育学校の具体的な教育活動の骨組みをつくり上げていく予定です。準備委員会は全体を取りまとめる本部会と具体的な事項を検討するワーキンググループで編制します。

準備委員会の設置に先立ち、この令和6年2月には武蔵浦和駅周辺地区6校の管理職と教育委員会事務局職員で構成する「開校準備委員会設置検討会」（以下、「検討会」と呼ぶ。）を設置しました。検討会での議論の状況を、この「開校準備委員会設置検討会通信」で発信しています。

2 第3回検討会の概要をお伝えします

第3回では、関係学校から、カリキュラムの検討について、クラブ活動、委員会活動、学校行事などの扱いは、保護者の方の関心が高いため丁寧な議論が必要であるといった意見や、通学路について、現時点でも児童生徒の動線の交錯があるため、安全確保のためしっかりと対応していく必要があるなどの情報交換がなされました。

また、これまで学校運営協議会において保護者の方からいただいていた、「保護者が参加する開校準備委員会ワーキンググループについては、参加者1名という限定ではなく複数名で参加できるようにしてほしい」、「継続的な議論をするには、参加期間が1年では短い」といった意見を受け、参加者の構成や参加期間を変更したことが共有されました。

今後のスケジュールについては、参加者の募集が7月から始まること、9月中旬に参加者の募集を終え、10月での開校準備委員会の立ち上げを目指していくことが共有されました。

3 スケジュール（予定）

検討会の実施状況等	
第1回（済）	2月
第2回（済）	4月
第3回（済）	7月
第4回	9月（予定）



準備委員会の予定	
第1回	10月
第2回	1月
継続的に開催	



開校準備委員会のワーキンググループについて

開校準備委員会は、全体を取りまとめる本部会と具体的な事項を検討するワーキンググループで編制します。各ワーキンググループでは、ワークショップ形式で、参加者による率直な意見交換を行っていきます。

	参加者の構成（学校・家庭・地域・その他）	主な検討予定事項
通学区 ワーキング グループ	学 校：学校地域連携コーディネーター等（6校×1名） 家 庭：保護者（6校×2名） 地 域：自治会（関係4地区会×若干名）・青少年育成地区会（5校×1名 ※内谷中を除く）	・通学区の検討 ・通学路の検討 ・通学方法の検討
カリキュラム ワーキング グループ	学 校：教務主任等（6校×1名）・教員（内谷中・浦和大里小・沼影小・浦和別所小×1名） 家 庭：保護者（6校×1～2名） 地 域：青少年育成地区会（5校×1名 ※内谷中を除く） その他：児童生徒（児童会・生徒会で話し合いやアンケートの実施を想定） 学識経験者（必要に応じ助言をいただく）	・学校行事に係る検討 ・クラブ活動や委員会活動等に係る検討 ・学用品に係る検討 ・特別支援教育に係る検討
学校生活 ワーキング グループ	学 校：生徒指導主任及び教育相談主任等（6校×2名） 教員（内谷中・浦和大里小・沼影小・浦和別所小×1名） 家 庭：保護者（6校×1～2名） 地 域：なし その他：児童生徒（児童会・生徒会で話し合いやアンケートの実施を想定）	・学校生活のきまりに係る検討 ・「Solaる一む」に係る検討 ・さわやか相談室に係る検討
校名・移行イベント ワーキンググループ	学 校：教頭（6校×1名） 家 庭：保護者（6校×1～2名） 地 域：自治会（関係4地区会×1名）・青少年育成地区会（5校×1名 ※内谷中を除く） その他：児童生徒（児童会・生徒会で話し合いやアンケートの実施を想定）	・校名、校章、校歌、移行に伴うイベントに係るスケジュールや決定方法の検討

- ※ 6校とは内谷中学校・浦和別所小学校・西浦和小学校・辻小学校・沼影小学校・浦和大里小学校を指します。
- ※ 上記の各ワーキンググループには、教育委員会の担当所管が事務局として参加します。
- ※ 上記以外にも、学校（教職員）及び教育委員会担当所管、関係団体で構成する、学校運営協議会・PTA、保健室・給食室・学校事務に関するワーキンググループがあります。



よくある御質問への回答

① 沼影新設校舎は一足制（上履きを使わず土足のまま校舎に入る）とする計画ですが、一足制のメリットやデメリットを教えてください。

①一足制のメリットは、靴の脱ぎ履きによる昇降口等の混雑緩和や事故の回避につながることや、災害時の円滑な移動が可能となることが挙げられます。デメリットについては、雨天時に濡れた靴の履き替えが必要な場合が想定されることが挙げられます。そのため、都内の先事例では替えの靴を個人のロッカーに置くなどの対応を行っている学校があります。

本市においても、雨の日の対応・床材・掃除の方法等について先事例の研究を行っており、沼影新設校舎の設計に活かしていきます。

② 地域に開かれた学校を目指すとのことですが、防犯対策についてどのように考えていますか。

②防犯対策に関しては、時間帯に応じて門扉や扉等を施錠し、セキュリティラインを変更するような設計を検討しています。例えば、日中は学校敷地内の学園モールに地域の方々が気軽に入れるようにしておりますが、そこから校舎内や校庭への出入りはできないような設計としています。また、防犯カメラも設置し、安全上の配慮をしていく予定です。

さらに、外部から校舎内に入る際には、教職員がいる受付を必ず通り、人の目でも確認ができるような動線計画としています。一方、児童生徒は校舎から直接校庭へ移動できるよう動線を確保しており、登校後はセキュリティラインの内側で活動できる設計としています。



編集後記

本通信は、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置に向けた検討状況を発信することで、関係の方が本事業の進捗を把握する一助としていただきたいと思います。検討会通信としては残すところあと1回の発行の予定となりますが、開校準備委員会が立ち上がったあとも、積極的に情報発信を行っていきたいと考えております。引き続きよろしくお願いたします。

発行・問合せ 開校準備委員会設置検討会事務局（教育委員会事務局管理部教育政策室）

電話 048-829-1627 FAX 048-829-1989

Email kyoiku-seisaku@city.saitama.lg.jp

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校についてのホームページはこちら

<https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/001/p082303.html>



本通信の内容は令和6年7月時点の情報になります。検討状況は変更となる場合があります。